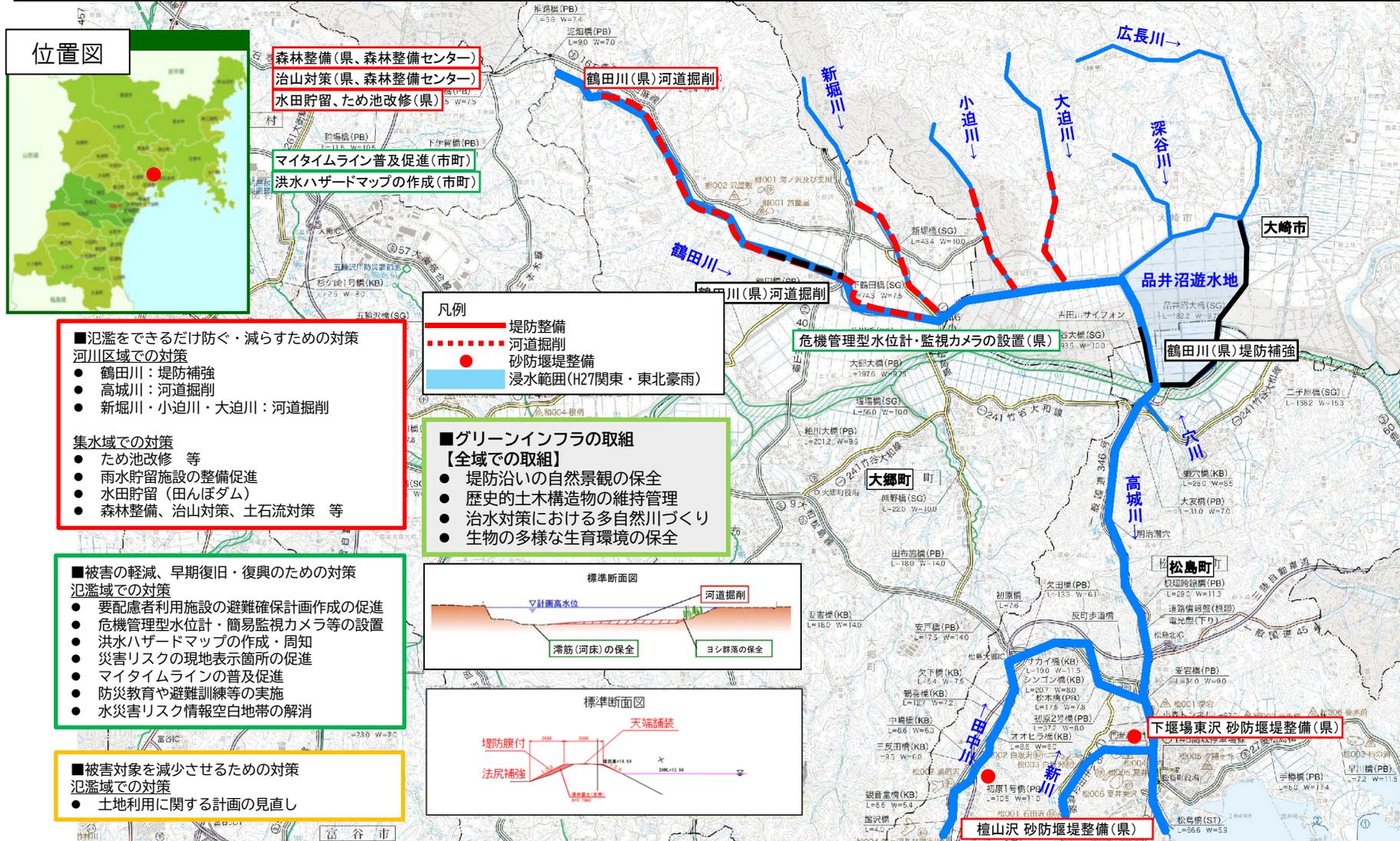


- 令和元年東日本台風では、県内各地で戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、高城川水系においても、事前防災対策を進める必要がある。
- 県、市町が連携し、以下の取組を推進していくことで、50年に一回程度の規模の降雨を安全に流し、流域における浸水被害の軽減を図る。



- 高城川水系では、各河川の上下流・支川の流域における地域特性を踏まえ、県・市町等が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。
 - 【短期】高城川、鶴田川において堤防補強、河道掘削などを実施し、治水安全度の向上を図る。
 - 【中長期】流域河川の河道状況を把握し、堆積土砂撤去・支障木伐採などを計画的に実施する。
- あわせて、流域市町が進めるまちづくりとの調整を図りつつ、安全なまちづくりや内水被害軽減対策（雨水浸透貯留施設の新設等）や市街化の進展に伴う雨水流出量の増大を抑制する雨水貯留浸透施設整備の推進などの流域における対策、ハザードマップや河川水位等の情報発信などソフト対策を実施。
- 吉田川流域と併せて特定都市河川を指定した。流域治水対策の更なる推進を図る。

区分	対策内容	実施主体	工期		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	河道掘削	宮城県	[Red arrow]		
	堆積土砂撤去・支障木伐採	宮城県	[Red arrow]	河道内の状況より順次実施	
	雨水貯留施設の整備 ため池改修、水田貯留	流域市町	[Red arrow]		
	森林整備・治山対策等	宮城県 森林整備センター	[Red arrow]		
被害対象を減少させるための対策	適正な土地利用の規制	流域市町	[Yellow arrow]		
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	ソフト対策のための整備	宮城県	[Green arrow]		
	避難体制等の強化 洪水ハザードマップの作成・周知	流域市町	[Green arrow]		
グリーンインフラの取組み	自然景観の保全（桜並木）	流域市町	[Light green arrow]		
	歴史的土木建造物の保全	宮城県	[Light green arrow]		
	森林整備・治水対策等	宮城県 森林整備センター	[Light green arrow]		

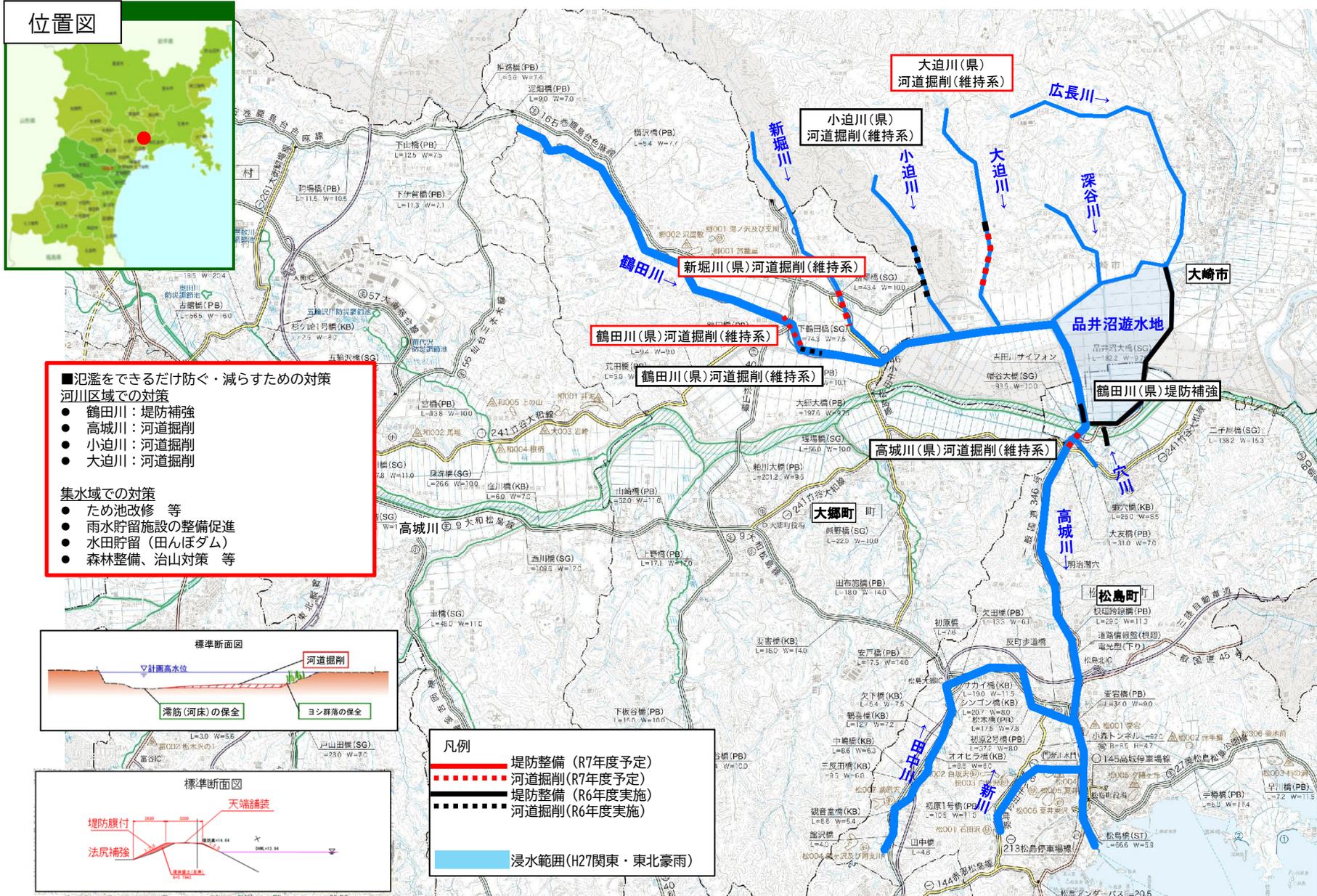
高城川水系流域治水プロジェクト

①氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策



① 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

■ 令和6年度の実施箇所及び令和7年度実施予定箇所



①氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

仙台土木事務所

- 市街地及び地方部も含めた堆積土砂撤去及び支障木伐採を計画的に推進。

堆積土砂撤去 (鶴田川)

着工前



完成



大郷町粕川木の崎地内

①氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

■ 市街地及び地方部も含めた堆積土砂撤去及び支障木伐採を計画的に推進。

堆積土砂撤去 (小迫川)

着工前



大崎市鹿島台大迫東股地内

完成後



堆積土砂撤去 (大迫川)

着工前



大崎市鹿島台大迫筒鳴木地内

完成後

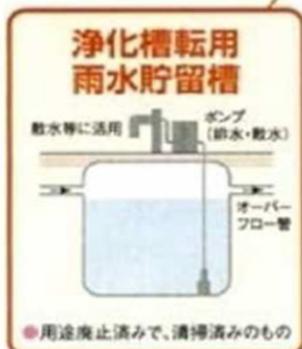


① 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

■ 雨水貯留施設の整備促進

○ 土地利用と一体となった遊水機能の向上として、流域内の住宅敷地等を活用した様々な流出抑制対策を推進。

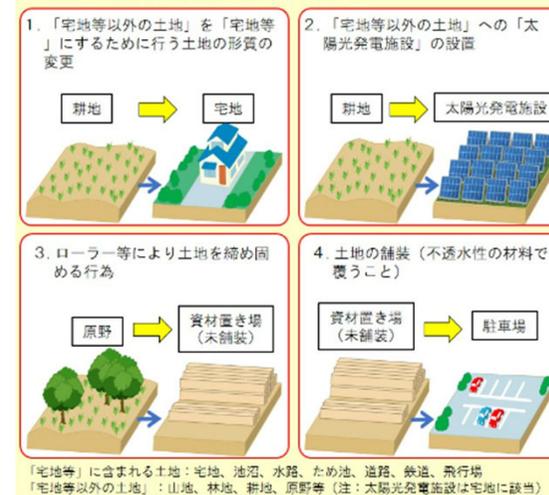
各戸貯留浸透施設（支援対象）のイメージ



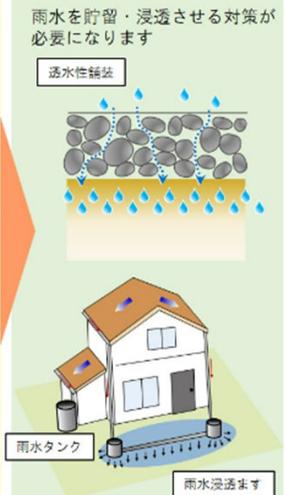
<高城川流域> 特定都市河川浸水被害対策法に基づく 雨水浸透阻害行為について

■特定都市河川流域において、1,000平方メートル以上の雨水浸透阻害行為を行う場合、宮城県知事の許可が必要となり、行為前の流出雨水量より増加しないよう対策工事（雨水貯留浸透施設の設置）が義務付けられます。

■対象となる行為（雨水浸透阻害行為）の例



■対策工事の例



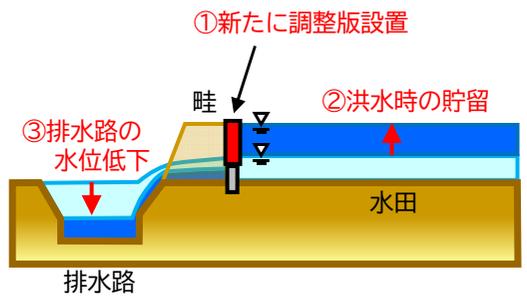
■令和6年5月末時点での雨水浸透阻害行為の許可数（知事許可）

・高城川流域内・・・1件

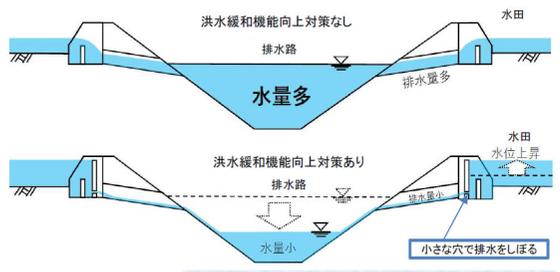
① 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

■ 水田貯留（田んぼダム）の取組の推進

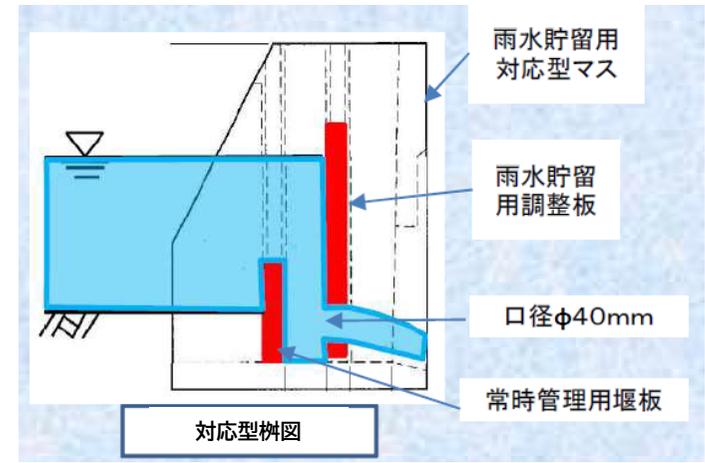
○ 当水系における、田んぼダムの取組拡大を図っていきます。



出典：近年の災害と今後の水災害対策について



○水田に水を溜め、転作田の排水を優先的に行うことで、転作作物の湛水被害を軽減できる。
○田んぼから少しずつ排水していくことによって、排水路や排水機場にかかる負担を軽減できる。
○雨水を一時的に田んぼに溜めることで、農地や市街地の洪水を減少させることができる。



■ ため池改修の取組の推進

○ 下流域への影響が大きい防災重点ため池において、防災工事の計画的な実施や適切な保全管理体制の整備を市町村・管理者等と連携して取り組んでいきます。

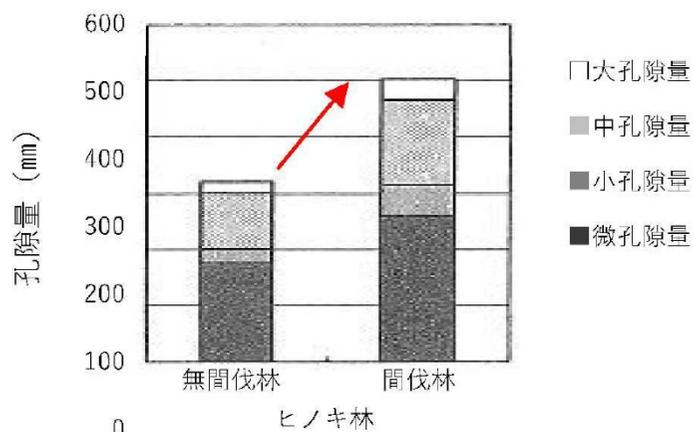
① 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

森林整備課

■ 森林整備、治山対策

- 森林整備・治水対策を適切に進め、保水力をはじめとする森林機能の維持・向上を図る。
- 山林の開発に対して一定の規制を設けるなど、森林機能の保全を図る。
- 復旧治山事業の松島町地内での参考事例を下記に示す。

治山対策のイメージ



※服部ら「間伐林と無間伐林の保水容量の比較 (2001)」

出典：林野庁

事業事例 (復旧治山事業)



① 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

■ 土砂・洪水氾濫対策

- 県内全域の土砂・洪水氾濫（※）により被災する危険性が高い箇所を抽出した。
- 抽出箇所について、対策計画を策定し、砂防堰堤・遊砂地等の整備を推進していく。

※土砂・洪水氾濫のイメージ

豪雨により上流域から流出した多量の土砂が、谷出口より下流の河道で堆積することにより、河床上昇・河道埋塞が引き起こされ、土砂と泥水の氾濫が発生する現象。



出典：土砂・洪水氾濫の概要（国土交通省）

対策のイメージ

危険性の高い流域を中心に、より効果的な砂防堰堤や遊砂地等を組み合わせた施設配置計画を検討し、事前防災対策を推進していく。



高城川水系流域治水プロジェクト

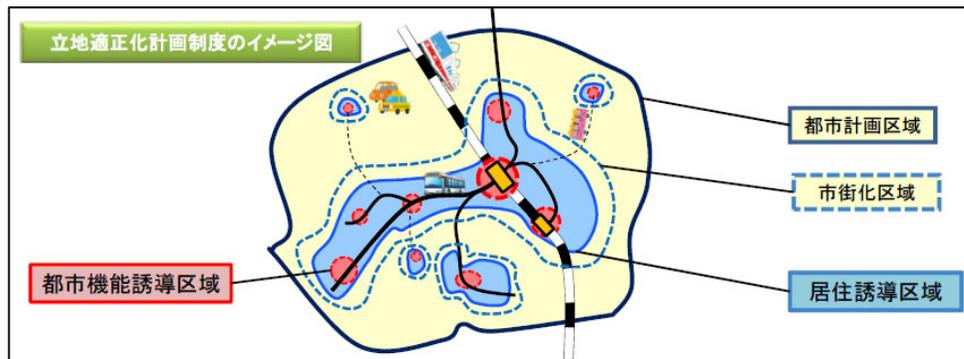
②被害対象を減少させるための対策



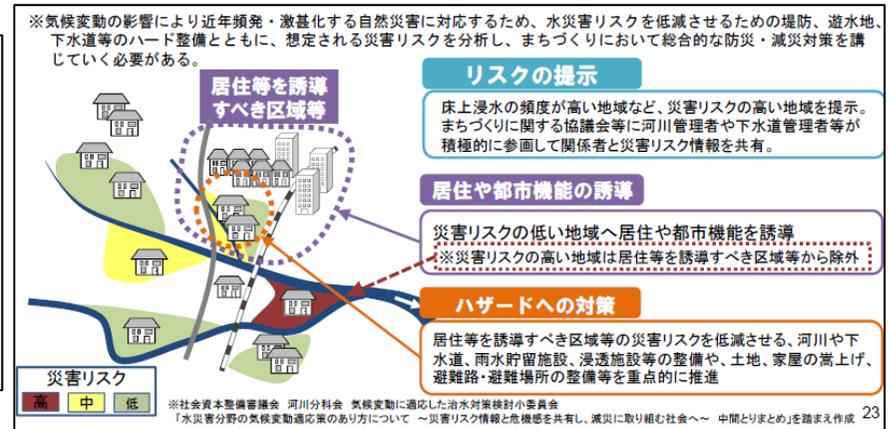
②被害対象を減少させるための対策

■ 土地利用に関する計画の見直し（立地適正化計画の策定 等）

○ 流域市町において、都市計画法を中心とした従来の土地利用の計画に加えて、居住機能や都市機能の誘導によりコンパクトシティ形成に向けた取組を推進する。



立地適正化計画イメージ図



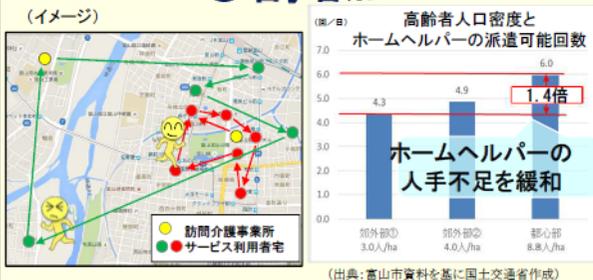
関連する計画や他部局の関係施策等の整理について

～コンパクトシティ形成による効果の例～

一定密度の集約型市街地に
～サービス産業の生産性向上～

■ ホームヘルパー1人当たりの
サービス提供量が

○割増加



公共交通を利用しやすいまちに
～中心市街地の再興に～

■ 中心市街地の消費額を

○○億円増加

マイカー利用者と公共交通利用者の消費行動比較

	マイカー	公共交通
中心市街地での平均滞在時間(分/日)	113分	128分
来街時に2店舗以上立ち寄る人の割合	30%	47%
中心市街地での平均消費金額(円/日・人)	9,207円	12,102円

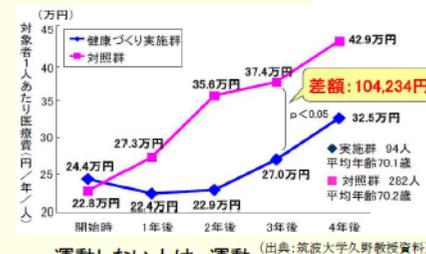
(出典:富山市資料)

マイカー利用者は、まちなかでの滞在時間が短く、消費も少ない

高齢者一人ひとりが元気に
～地方財政の健全化へ～

■ 必要となる医療費を

○○億円削減



運動しない人は、運動する人より年間10万円も医療費が高い

高城川水系流域治水プロジェクト

③被害の軽減、早期復旧・復興のための対策



③被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

■ 要配慮者利用施設の避難確保計画作成の促進

- 要配慮者利用施設の管理者の避難計画に係る理解向上を図り、計画の作成を支援する。

要配慮者利用施設における
避難確保計画作成の手引き別冊
(作成支援編・様式編)



平成28年台風第10号による被害状況



要配慮者利用施設
管理者向け説明会

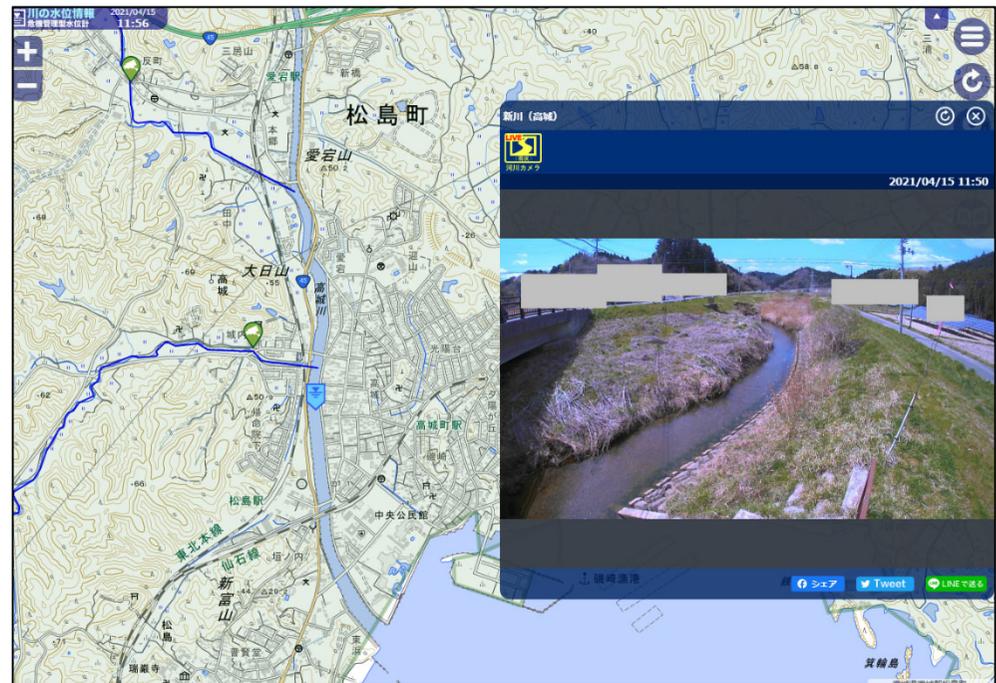
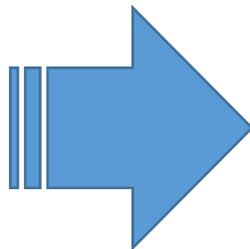
③被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

■ 危機管理型水位計・簡易型河川監視カメラ等の設置

- 洪水に特化した低コストの水位計（危機管理型水位計）の整備促進
- 災害時に画像・映像による災害情報を発信し、適切な避難判断を促すため、簡易型河川監視カメラの整備促進



監視カメラ
設置状況（新川）



配信映像（新川）

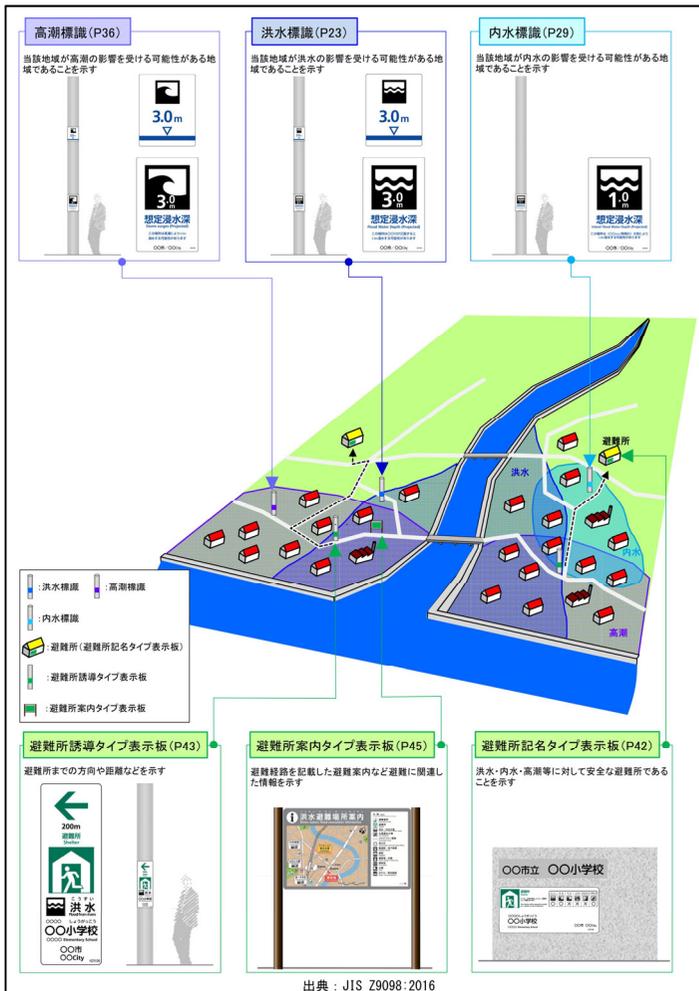
「川の水位情報」
<https://k.river.go.jp>



③被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

■ 災害リスクの現地表示箇所の拡大を促進

○ 想定浸水深等の災害リスクをまちなかに表示することで、日頃から住民の水防災意識向上を図る。



過去洪水実績浸水深の掲示例
(まるごとまちごとハザード
マップ取り組み事例)

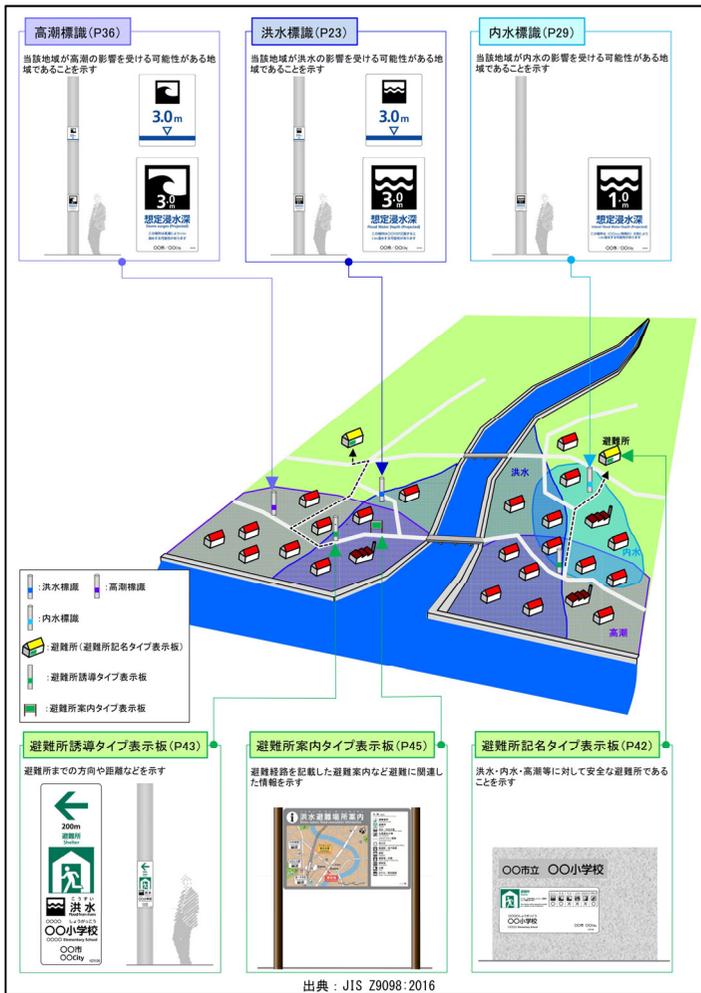


(新たに定住する住民に対しても、地域の水害の危険性を実感できる工夫)

③被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

■ 災害リスクの現地表示箇所の拡大を促進

○ 想定浸水深等の災害リスクをまちなかに表示することで、日頃から住民の水防災意識向上を図る。



過去洪水実績浸水深の揭示



③被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

■ マイタイムラインの普及促進

○ 洪水時の住民の円滑な避難行動のため、マイ・タイムラインの作成を支援する。

マイ・タイムラインのイメージ



出典：国土交通省関東地方整備局 下館河川事務所HP

マイ・タイムライン

台風の接近や大雨によってこれから起こる災害に対し、「いつ」「誰が」「何を」するのかといった防災行動を時系列に整理し、自分自身の防災行動計画のことです。時間的な制約が厳しい洪水発生時に、行動のチェックリストとして、また判断のサポートで効果を発揮するものです。

住民一人ひとりが、自分に合った避難に必要な情報・判断・行動を把握し「逃げ遅れゼロ」に取り組みましょう。

平常時の確認事項

- 自宅の状況を確認 自宅の危険性についてハザードマップから確認
 浸水深 ~
- 避難する場所
 避難する場所 (第1候補) 避難する場所 (第2候補)
- 避難所までの交通手段
 徒歩 分 自動車 分
- 避難する際に (支援してくれる) 人 ①名前 電話
 支援する ②名前 電話

気象・行政の情報

- 台風予報 3日前
- 台風に関する宮城県・大崎市の気象情報
- 大雨・洪水注意報 24時間前
- 大雨・洪水警報

警戒レベル3

- 避難準備・高齢者等避難開始を発令
 防災行政無線・緊急速報メールなど

高齢者等は避難を開始

- 川が氾濫危険水域に到達 3時間前

避難勧告を発令

- 防災行政無線・緊急速報メールなど

すべての人はここまで避難を完了

- 大雨特別警報
- 避難指示(緊急)を発令
 防災行政無線・緊急速報メールなど

1時間前

- 川が氾濫

警戒レベル5

- 災害発生情報
 防災行政無線・緊急速報メールなど

そなえや注意点など

わが家のそなえ	そなえの例
	<ul style="list-style-type: none"> ● 台風の今後の動きを調べる ● 1週間分の薬を病院に受け取りに行く ● 家の周りの風で飛ばされやすいものを確認する ● テレビやインターネット等で雨や河川の情報を得る ● 避難する時の持ち物を準備する ● 家族と連絡を取り合う ● 携帯電話を充電しておく ● 避難場所や避難手段を確認する ● 避難しやすい服装に着替える ● 安全なところへ移動を始める

● 避難が完了していない場合は、直ちに避難を開始してください。外に避難することでかえって命の危険がある場合は、その時点にいる建物内の安全な場所へ、安全を確認してください。

● 自分の状況を家族や親戚などに連絡しましょう。

名前	電話番号	必需品	日中の居場所

例：大崎市のマイタイムライン作成様式

18

③被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

大崎市

■ 防災教育や避難訓練等の実施

防災訓練の様子



防災研修会の様子



地域づくりWSの様子



避難路（待機所）
夜間誘導照明塔の設置



③被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

■ 防災教育や避難訓練等の実施

大崎市防災ポータルを開設しました

大崎市の災害情報、避難指示等の発令情報や避難所等の開設・閉鎖情報などをリアルタイムで市民の皆さまへ伝達するため、大崎市防災ポータルサイトを開設しました。
大崎市LINE公式アカウントから閲覧できるので、有事の際の情報収集に活用してください。

LINEの友だち追加はこちらから！

大崎市LINE公式アカウントからの閲覧方法

1. メインメニューから「防災・安全・安心」を選択
2. 「大崎市防災ポータル」を押下
3. 「大崎市防災ポータル」のウェブサイトへ遷移し、情報を閲覧

LINEをしていない方はこちらから！

大崎市防災ポータルの使い方

大崎市防災ポータルでは災害時に
①避難情報 ②通行止め情報 ③避難所情報 ④各種お知らせ が確認出来ます。
ポータル内のwebハザードマップを選択すると、通行止めと避難所の箇所が確認出来ます

避難所や道路規制情報等の確認したい情報を選択すると、地図に箇所が表示されます。

災害時に必要な情報が各種掲載されます。

高齢者避難、避難指示等の避難情報が掲載されます。

開設した避難所情報が掲載されます。

※防災行政無線や緊急速報メール等の情報発信も引き続き実施します。

【問い合わせ】
大崎市総務部防災安全課危機防災担当
Tel. 0229-23-5144/FAX 0229-24-2249

③被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

松島町

■ 情報発信の強化

○ 総合防災マップの改訂・WEB版の作成、防災行政無線とLINE等SNSによる情報発信の一元化

松島町 総合防災マップ
Matsushima Town All Hazard Map

1 知る 2 考える 3 備える

目次

- 防災マップに搭載しているハザード情報1
- 災害に関する情報の種類と入手方法2
- 避難所・避難先の種類3
- 避難所一覧4
- 地図索引5-6
- 地震が起こったその時に7-8
- 緊急情報と行動9-10
- 二次災害と津波避難の心得11
- 家の点検(地震)12
- 地震被害想定・津波浸水想定区域について13
- 備えやすさマップ・地域の危険度マップ14
- 津波による浸水が予想される区域15-20
- 大雨による災害とその被害21-22
- 災害時の警戒レベルと「取るべき行動」23-24
- 家の点検(風水害)25
- 洪水浸水想定区域等について26
- 大雨による浸水が予想される区域など27-34
- ため池について35
- ため池の決壊により浸水が予想される区域36-38
- 各災害における避難行動確認フロー39-40
- 災害に備えて41-43
- 私の・我が家のハンドブック44-45
- WebJ(ウェブ)マップの使い方46

松島町 MATSUSHIMA TOWN
定城黒宮城野松島町高城字御命院下1-19番地の1
TEL. 022-354-5782 (総務課 環境防災班)

Web ハザードマップの使い方

英語・韓国語・中国語(繁体字)への切り替えも可能です

※本マップに掲載している情報は令和6年3月現在のものです。今後の改訂によって仕様が一部変更になる場合があります。

1 基礎の切り替え
2 通過度の調整
3 ハザード情報・施設情報
4 任意地点ハザード情報の表示
5 ストリートビュー
6 地図の拡大・縮小
7 印刷機能
8 ヘルプ
9 避難施設情報表示機能

10 現在地からの避難経路までの経路検索機能
11 自宅からの避難経路までの経路検索機能
12 任意地点ハザード情報の表示
13 ストリートビュー
14 地図の拡大・縮小
15 印刷機能
16 ヘルプ
17 避難施設情報表示機能

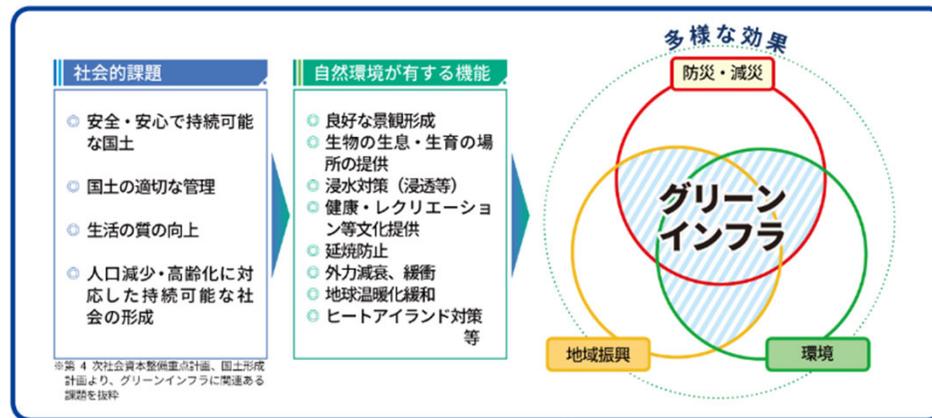
ハザードマップ掲載サイトはこちら
以下のURLからのアクセスも可能です。
<https://www.smp.jp/matsushima/guide/dm6/11157134.html>

- 1, 総合防災マップ
 - ・ R6年度に全戸配布
 - ・ 新たな浸水想定に対応
 - ・ WEB版作成により、どこでも検索可能。
 - ・ WEB版は4カ国語切り替え、外国人観光客対応
- 2, 情報発信の一元化
 - ・ 防災行政無線とSNS連携
 - ・ 複数ツールでも同時発信可能

④被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

■ グリーンインフラの促進

○ 明治潜穴公園は、歴史かおる運河整備事業により元禄時代からの治水の歴史を学ぶことのできる教育・文化的な拠点とすることを目標として整備され、平成5年に開園し、小学生の歴史教育や親水空間として活用されてきました。平成30年2月に「明治150年」関連施策として、明治潜穴公園リノベーション事業により土木遺産の魅力を改めて発信するとともに、整備着手し、令和2年度に完了後、良好な景観形成と文化提供を行っています。



○ 防災・減災や地域振興、生物生息空間の場の提供への貢献等、地域課題への対応

○ 持続可能な社会、自然共生社会、国土の適切な管理、質の高いインフラ投資への貢献

【図】グリーンインフラの考え方

出典：グリーンインフラポータルサイト（国土交通省）



明治潜穴公園リノベーション事業 着工式にて記念樹「祇園しだれざくら」前より